

これだけは知っておきたい 免疫介在性疾患

～正しい診断法から治療法まで～

全4回
シリーズ

2014年

6月5日(木)～9月4日(木)

19:00～21:00 (受付18:45より)



- 正しい診断の見直し
- 根拠ある治療法
- これから期待できる治療

↑ こんな方にオススメ!

一から学びたい
若手獣医師

もう一度見直したい
ベテラン獣医師

前半では免疫介在性疾患の土台となる基礎知識と薬剤について、後半では「関節疾患」「血液疾患」「消化器疾患」の3つに分け、それぞれの病態・診断法・評価法・治療法を症例を交えながら深く学びます。第一線で活躍されている湯木正史先生だからこそ聴ける、最適で最新の情報がたくさん詰まった内容なので、若手獣医師様からベテラン獣医師様まで幅広いレベルに対応したセミナーです。

湯木正史 (湯木どうぶつ病院 院長) 講師

1993年北里大学卒業後、東京・愛知にて勤務し1996年湯木どうぶつ病院を開業。その後北里大学獣医学部研究生及び北里大学獣医学部大学院研究生を経て2011年に博士号を取得。2012年より岐阜大学客員准教授も務めている。

会場

AP品川Eルーム (10F)
〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル

アクセス

JR各線・京急線
「品川駅」高輪口より徒歩約3分

定員

24名 (先着)

参加費

43,000円/人

6月5日(木)

第1回

免疫介在性疾患・自己免疫疾患とは?

免疫介在性疾患・自己免疫疾患の発症機序について

これだけは知っておきたい免疫抑制剤

免疫抑制剤の分類とプレドニゾン/アザリオプリン/シクロスポリンについて

7月3日(木)

第2回

これを知っていると得する免疫抑制剤

シクロフォスファミド/クロラムブシル/レフルノミド/免疫グロブリン製剤/ミコフェノール酸モフェチル/メトトレキサート/タクロリムス/他免疫調整剤

免疫介在性関節疾患の病態・診断法と治療法

血液検査をはじめ、関節液の評価やX線検査等による診断方法、その治療法について詳しく学びます (特発性多発性関節炎/関節リウマチ)

8月7日(木)

第3回

免疫介在性血液疾患の病態・診断法と治療法

血液検査をはじめ、X線検査、超音波検査および骨髄検査等による診断方法、その治療法を解説していきます (免疫介在性溶血性貧血/非再生性免疫介在貧血/赤芽球ろう/再生不良性貧血/免疫介在性血小板減少症/免疫介在性汎血球減少症/薬剤誘発性血小板減少症など)

9月4日(木)

第4回

免疫介在性消化器疾患の病態・診断法と治療法

血液検査をはじめ、X線検査、超音波検査および内視鏡検査等による診断方法、その治療法を解説していきます (重症筋無力症/慢性腸疾患/肛門周囲瘻/ミニチュア・ダックスフンドの直腸ポリープなど)

お申込み後の流れ

ご登録のメールアドレスへ
請求書を送付

指定口座へ参加費お振込み

当日のご案内をメール配信
(開催2週間前)

セミナー当日

セミナー情報をメール配信!

セミナー開催が決定したらすぐお知らせ!
いち早く知りたいならメール受信が便利!

登録はコチラから▼
www.life-tail.com

お申込み方法



WEBからのお申し込み

➡ <http://life-tail.com>



ファックスでお申し込み

➡ FAX 番号 03-6273-7327

裏面を記入
してください